

## 20 世界の感染者の動向について

世界での感染者数の増加に歯止めがかからず、WHO は緊急事態宣言を延長しました。8月2日16時現在の世界での感染者数の累計は1,780万人を超え、死亡者数も68万人を超えています<sup>1)</sup>。感染者の最も多い国は米国で、以下ブラジル、インド、ロシア、南アフリカ、メキシコなどが続いています。日本国内でも感染者の増加が見られ、1日の感染者数は1,500人を超え、首都圏が44%をしめています。今回、世界の感染動向をオックスフォード大学の「Our World in Data」<sup>2)</sup>をもとに解析します。

### 1) 世界の新規感染者数の動向

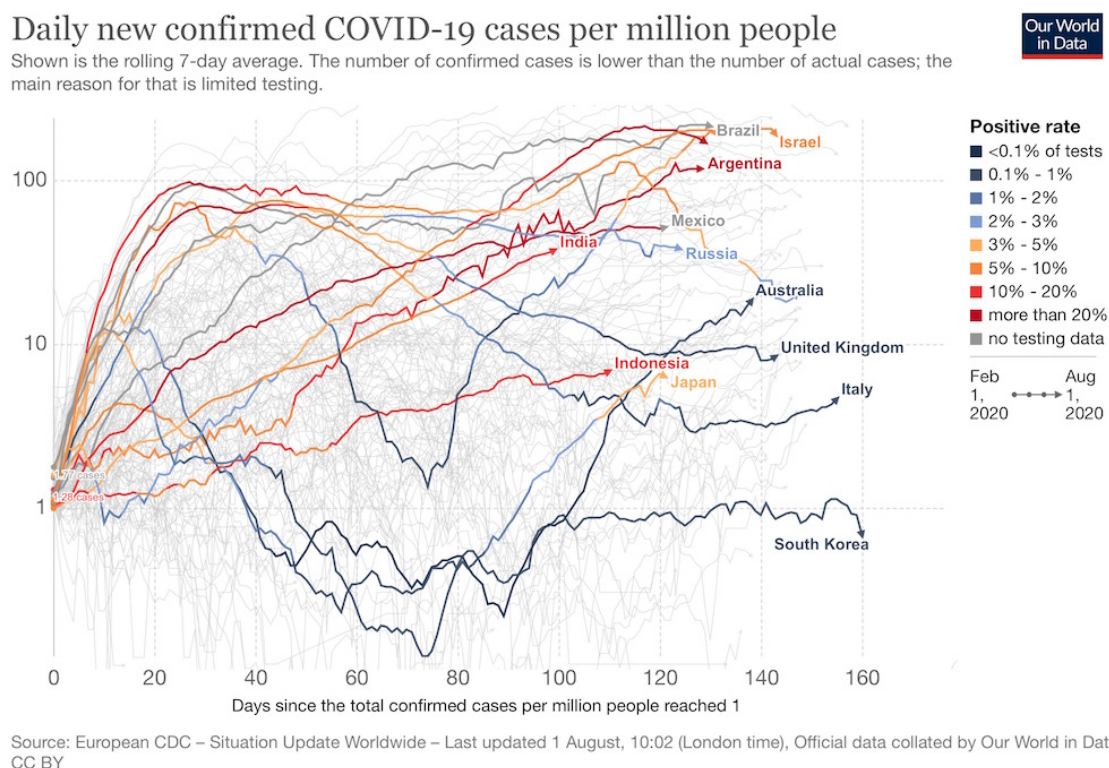


図1 人口100万人あたり、1週間の平均の新規感染者数

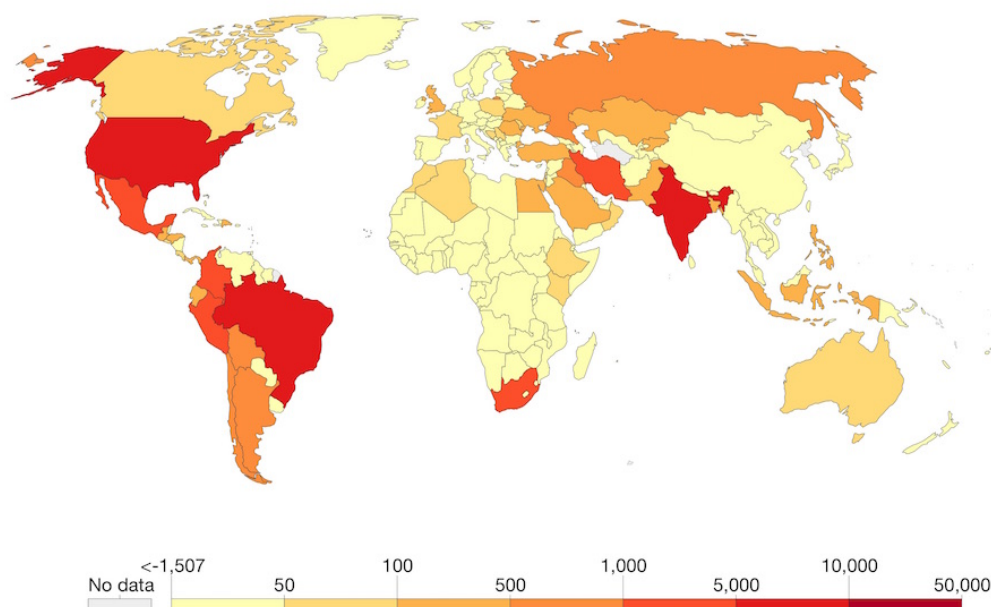
新規感染者数を見ると米国および南米諸国（ブラジル、アルゼンチン、メキシコ）、インド、イスラエル、オーストラリアなどの増加が顕著である一方、ヨーロッパ諸国はプラトーであり陽性率も低くなっています。日本は、陽性率も5%

近くあり増加傾向です（図1）。中央アジア、米国（南部）、南半球に多い傾向であることから、COVID-19もある程度の季節性の変動を示すと考えられます。

## 2) 世界の死亡者数の動向

### Weekly confirmed COVID-19 deaths, Aug 1, 2020

Weekly confirmed deaths refer to the cumulative number of confirmed deaths over the previous week.



Source: European CDC – Situation Update Worldwide – Last updated 1 August, 10:02 (London time) OurWorldInData.org/coronavirus • CC BY

図2 一週間の平均死亡者数（8月1日現在）

COVID-19 は一部の患者が重症化し死亡することがわかっています。そこで、世界の死亡者数を1週間の平均でみると、米国、ブラジル、インドが多くその他南アフリカ、メキシコなどが多い傾向で、日本を含む東南アジア諸国は低い傾向でした（図2）。

## 3) 米国の感染者・死亡者の動向

米国では、一度は感染者数が減少しましたが、5月から6月の経済活動の再開により増加傾向となり、それにともない死亡者数も増加し1日で1,400人（1分に1人が死亡）というとんでもない状況になっています（図3）。死者が多い（5,000人以上）のは、主としてテキサス、フロリダ、カリフォルニア、イリノイ、ミシガン、ペンシルバニア、ニューヨーク、ニュージャージーなどの州です（図

4) 3)。

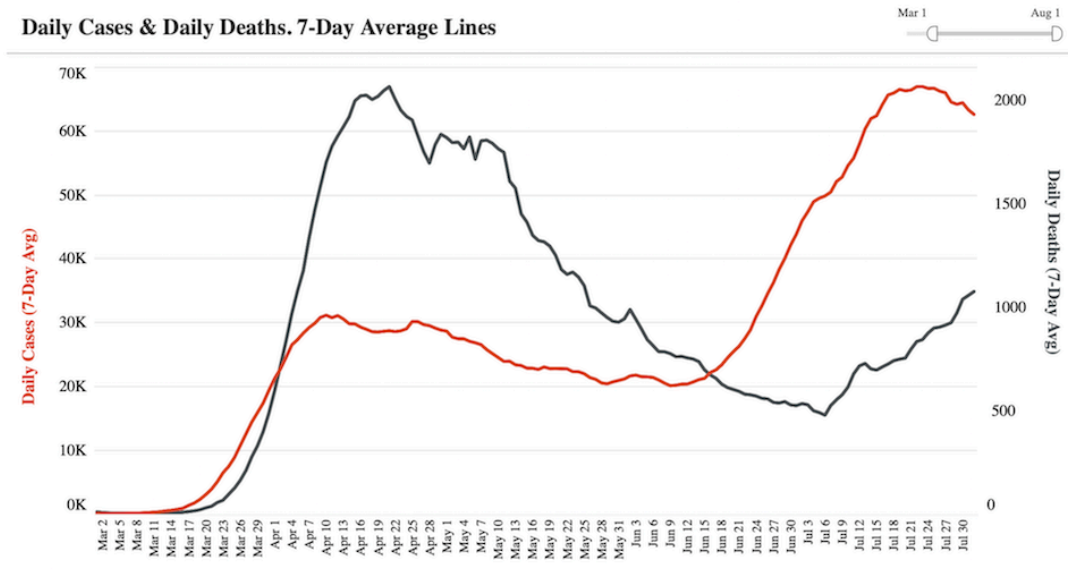


図3 米国における感染者数と死亡者数の推移(一週間の平均、8月1日現在、by courtesy of Eric Topol)

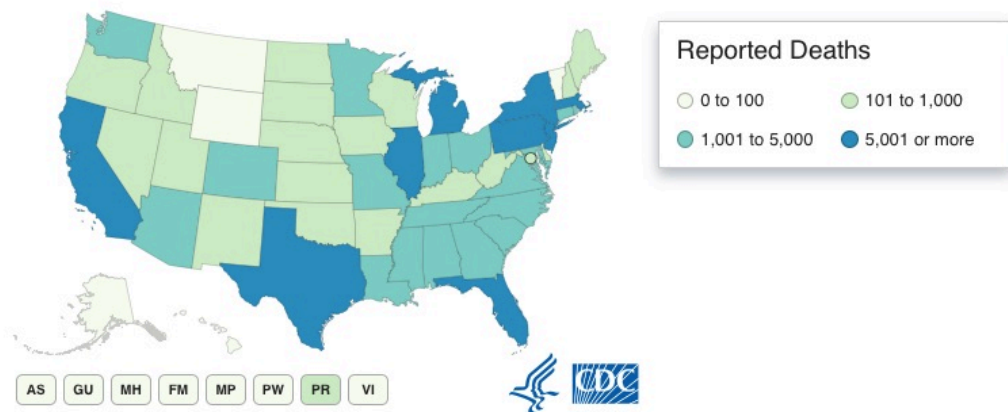


図4 米国各州の死亡者数

#### 4) 検査件数と感染者数の関係

日本はこれまで症状がある人を中心に検査をおこなっていましたが、最近は濃厚接触者を中心に無症状の人への検査件数も増えた結果、感染者数としては増加傾向ですが、陽性率で見ると5%程度になっています(図1)。これを他の国

と比較すると、米国やイスラエルでは検査件数も多いが感染者数も多いという状況です。メキシコ、ブラジル、アルゼンチンは検査件数が少ないにもかかわらず感染者が多く、日本はヨーロッパ諸国と同程度の感染者数ですが検査件数はまだ少ないままです。一方、韓国、台湾、ニュージーランドなどはよくコントロールされていると考えられます（図5）。

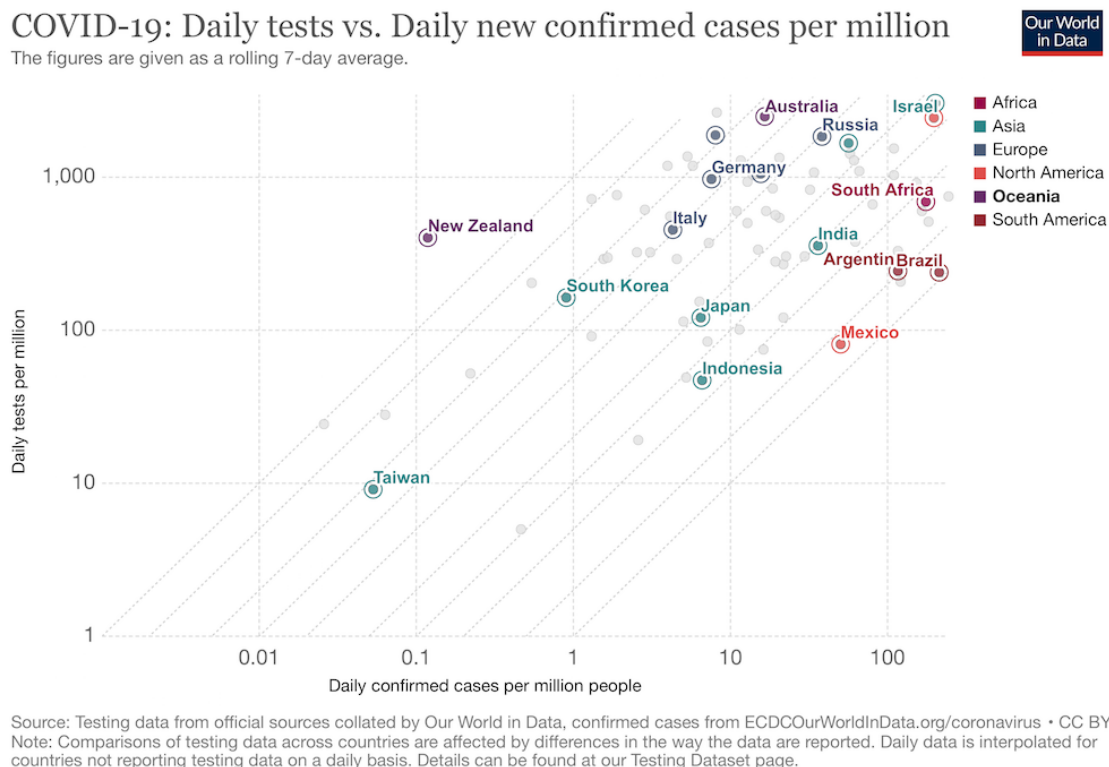


図5 検査件数と陽性患者数の関係

文献

- 1) ジョーンズ・ホプキンス大学 COVID-19 データ(CSSE).  
<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>
- 2) オックスフォード大学 Our World in Data. <https://ourworldindata.org>
- 3) Cases in the USA. CDC.  
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/cases-updates/cases-in-us.html>